

市長の激励を受ける朽木分団の選手の皆さん



高島市消防操法訓練大会 朽木分団 そろって県大会へ

7月2日(土)、高島市消防本部で、高島市消防操法訓練大会が開催されました。各地域の代表12チームが出場し、消防操法技術を競い合いました。成績は次のとおりです。

優勝したチームは、7月31日(日)に東近江市の滋賀県消防学校で開催された滋賀県消防操法訓練大会に出場されました。(消防本部)

【ポンプ車の部】

優勝：朽木分団 第2位：安曇川第1分団 第3位：新旭第1分団
【個人最優秀者】

- 指揮者 畠山 敏一郎 (安曇川第1分団)
- 1番員 白井 進 (新旭第1分団)
- 2番員 土井川 雅智 (マキノ第2分団)
- 3番員 山原 統太 (朽木分団)
- 4番員 岸本 雄亮 (朽木分団)

【小型ポンプの部】

※敬称略
優勝 朽木分団 第2位 新旭第2分団・第3位 マキノ第2分団
【個人最優秀者】

- 指揮者 大西 将史 (新旭第2分団)
- 1番員 岸上 大輝 (新旭第2分団)
- 2番員 田寄 広幸 (朽木分団)
- 3番員 山本 将弘 (朽木分団)



大会当日の様子

9月21日(水)〜30日(金)まで
秋の全国交通安全運動が実施されます
脇見運転に注意ください！
運転中のカーナビやスマートフォン(スマホ)の操作、車内に落ちたものを拾うなど、運転中に前方から目を離すのは非常に危険です。スマホの操作などは、安全なところに停車してから行うようにしましょう。
車や自転車の運転中はもちろんですが、歩行中も「ながらスマホ」は止め、周りの状況に注意しましょう！



行楽シーズンは外出する機会や交通量が増加します。一人ひとりが交通安全を意識し、事故を起こさないようにしましょう！

滋賀県交通安全スローガンを募集します！

滋賀県では、交通事故のない、安全で住みよい湖国滋賀を築くため、来年度の交通安全キャンペーン等に使用する「交通安全スローガン」を募集します。

▼募集期間 9月16日(金)〜10月31日(月)

▼募集テーマ 県民みんなで交通安全をすすめる雰囲気がある、滋賀県らしい特徴のあるもの。

▼応募資格 滋賀県に在住もしくは勤務・通学している方(作品は自作・未発表のものに限りません。)

▼応募方法 ハガキ、封書、ファックス、メール 必ず次の事項を明記してください。郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号(学生の場合は学校名・学年)

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
TEL 077(528)3682
TEL 077(528)4837
E-MAIL hc0001@pref.shiga.lg.jp

交通事故発生状況

高島警察署 (22)0110

(平成28年7月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	43件	-24件
死者数	0人	-1人
傷者数	63人	-26人

発生場所	件数
マキノ	7件
今津	8件
朽木	1件
安曇川	9件
高島	6件
新旭	12件

火災・救急・救助件数

消防総務課 (22)5401

(平成28年7月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	1件	8件
車両	0件	2件
林野	0件	0件
その他	1件	15件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	18件	94件
一般負傷	28件	209件
急病	140件	1004件
その他	23件	150件

救助	件数	累計(1月~)
火災	0件	0件
交通事故	0件	6件
水難事故	0件	3件
その他	1件	7件

環境放射線測定結果

原子力防災対策室 (25)8133

7月平均値(平日測定)	前月平均値
マキノ(マキノ支所前駐車場) 0.069 μSv/h	0.071 μSv/h
今津(今津支所玄関北側) 0.057 μSv/h	0.057 μSv/h
朽木(朽木支所前駐車場) 0.072 μSv/h	0.062 μSv/h
安曇川(安曇川支所前駐車場) 0.043 μSv/h	0.052 μSv/h
高島(高島支所東駐車場) 0.048 μSv/h	0.049 μSv/h
新旭(市役所北側玄関前) 0.057 μSv/h	0.058 μSv/h

※測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。
※通常の値はおおむね0.2 μSv/h以下です。

藤樹の里あどがわ花いっぱい運動 道路愛護等功労者表彰を受賞

この度、平成13年から続く「藤樹の里あどがわ花いっぱい運動」に対し、国土交通省近畿地方整備局長から、「道路愛護等功労者表彰」がありました。

「藤樹の里あどがわ花いっぱい運動推進協議会」では、ゴミのない道づくりとまちの美化推進のため、国道161号を花いっぱいにする活動に取り組んでいます。この取り組みは、いっぱいの花で国道を心安らぐ空間に彩り、訪れる方を温かく迎え入れ、道路利用者のモラルやマナーが向上することを目指しています。(安曇川支所)



協力隊のさしこ記

【さしこ】 歳時 催事 細事 etc...
移ろいや催し、日々感じる細々したことを地域おこし協力隊の感性で徒然伝えていくコーナーです。

地域おこし協力隊 太田 彰

「ありがとう」の反対は「あたりまえ」

日本各地で空前の移住ブームが巻き起こっているが、果たして原因は何なのだろう。政治面や自治体の思惑は置いて。移住を考える個人として。たぶん居場所が欲しいのだと思う。「居るべき」や「居たい」ではなく「居てもいい」場所が。

「居場所」っていうのは、他者と自分との関係性だと私は思っている。親子や夫婦、集落と自分といった感じの。傍にいて許されているけど、強制されない関係性。ありそうでない、有り難い関係性。移住してみたはいいけど、突如訪れる不安や違和感。本能的に居場所がないと感じるから訪れる感情。でもこれってある種当たり前のことだと思う。最初から居場所があるわけないんだから。移住者は集落にとって有り難い存在。驚き・戸惑い・喜び・感謝、これらを内包した「有り難う」。ここに居場所を作れるかは両者の歩み寄り次第。

移住も、それを受け入れることも「当たり前」のことではない。どちらも大変「有り難い」こと。気づくことが居場所づくりの第一歩。